

島根県立中央病院で診察を受けられる患者さんへ

当院では、以下の研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、ご自身の試料・情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

ただし、すでに解析を終了している場合には研究データからあなたの情報を削除できない場合がありますので、ご了承ください。

| | |
|--|---|
| 研究題目 | 外傷全身CT撮影における被ばく線量 (CTDIvol と DLP) の実態調査 2022 |
| 研究期間 | 2022年1月6日 ～ 2023年3月31日 |
| 対象患者 | 当院において、外傷全身CT撮影を施行した患者さん |
| 対象期間 | 2020年7月1日～2022年12月31日 |
| 研究機関の名称 | 別添のとおり |
| 実施診療科 | 放射線技術科 |
| 研究責任者 | 吉岡 隆二 |
| 意義・目的 | 外傷全身CTを施行された症例の被ばく線量 (CT装置に表示されるCTDIvol [mGy] と DLP [mGy・cm]) の再調査を行うとともに、診断参考レベル (DRLs2020) が発表された後の国内における外傷全身CTの被ばく線量の現状を把握することを目指します。さらにはこのデータを基に国内の外傷全身CTの診断参考レベルの指標改訂に結びつくような調査を目指します。 |
| 研究の方法 (試料・情報の利用 方法・他施設への提 供方法を含む) | 対象患者さんのカルテから、年齢、体重、被ばく線量 (CTDIvol、DLP) 等の項目を収集します。収集した臨床データには、患者さんの個人情報とは無関係の番号を付け対応表を作成し、院内で適切に管理します。匿名化したデータを神戸赤十字病院へ電子メール (パスワード管理) にて送付、解析し、被ばく線量の実態を調査します。 |
| 利用・提供する試 料・情報の項目 | 年齢、体重、外傷全身CT撮影時の被ばく線量 (CTDIvol、DLP) |
| 試料・情報の 提供の有無 | 試料・情報の他施設への提供 <input checked="" type="checkbox"/> あり・なし (ありの場合、海外の施設への提供 <input checked="" type="checkbox"/> あり・ <input type="checkbox"/> なし) |
| 個人情報の保護 | 当院における個人情報保護の基本方針に準じて行います。 |
| 結果の公表 | 専門の学会で発表予定 |
| 備考 | |

***** お問い合わせ先 *****

島根県立中央病院
放射線技術科 吉岡 隆二
(主担当：中濱 寿太)
電話：0853 - 22 - 5111

研究組織

研究代表者：

神戸赤十字病院 放射線科部 宮安 孝行

研究参加施設と研究責任者

りんくう総合医療センター 放射線技術科 藤村 一郎

札幌医科大学附属病院 放射線部 小倉 圭史

福島県立医科大学 診療放射線科学科 田代 雅実

東北大学病院 診療技術部 放射線部門 小野 勝範

国立病院機構水戸医療センター 放射線科 田中 善啓

日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院 医療技術部 放射線科 大保 勇

岡山大学医学部附属病院 医療技術部 赤木 憲明

済生会熊本病院 中央放射線部 坂本 崇

済生会熊本病院 中央放射線部 高本 聖也

国際医療福祉大学成田病院 放射線技術部 五十嵐 隆元

りんくう総合医療センター 放射線技術科 西池 成章

既存試料・情報提供機関

外傷全身 CT 加算の施設基準を満たした救命救急センターとして登録している 290 施設